

募金概要

募金使途

研究と育児の両立、次世代育成などの女性研究者支援や学内保育環境の充実、伝統の継承等を行います。

目標額

各年度1,000万円

ご寄附の方法

- ◆法人としてお申込みをいただく場合
基金事務局よりご案内をお送りします。
- ◆個人としてお申込みをいただく場合
クレジットカード決済、郵便振替、銀行振込によるご寄附をお願いいたします。

税制上の優遇措置

東北大学基金へのご寄附につきましては、税制上の優遇措置を受けることができます。

- ◆法人の場合
寄附金額全額を損金に算入することができます。
- ◆個人の場合
税務署に確定申告をしていただくことにより、所得税の寄附金控除が受けられます。また、宮城県に住所を有する方は併せて個人県民税(一部市町村の個人市町村民税を含む)の寄附金税額控除も受けられます。



※詳しくは、東北大学基金WEBサイトをご覧ください。

東北大学基金 (東北大学総務企画部広報課基金係)

〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1番1号
TEL : 022-217-5058・5905 E-mail : kikin@grp.tohoku.ac.jp
URL : <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/japanese/>

感謝の気持ちを込めて

寄附者の皆様への感謝を込めて、数々の特典をご用意しました。

- 賞の贈呈
ご寄附の総額に応じて、賞を贈呈させていただきます。

種別	個人	法人・団体
栄誉功労賞	3,000万円以上	1億円以上
特別功労賞	1,000万円以上	5,000万円以上
功労賞	100万円以上	1,000万円以上
特別功績賞	50万円以上	500万円以上
功績賞	10万円以上	100万円以上

- 寄附者顕彰銘板へのご芳名の掲載
賞を受けられた寄附者様のお名前を、東北大学片平キャンパス内エクステンション教育研究棟に設置している「東北大学基金寄附者顕彰銘板」に掲載いたします。
- 感謝のつどいへのご招待
賞を受けられた寄附者様を、東北大学総長が主催する「感謝のつどい」など大学が主催する催事にご招待いたします。
- 東北大学校友会(しゅうゆうかい)プレミアム会員特典
賞を受けられた個人の寄附者様には、校友会プレミアム会員として様々な特典を提供させていただきます。



男女共同参画推進基金

男女共同参画のさらなる推進のために



東北大学基金
Tohoku University Fund

女性研究者のスキルアップやキャリアアップ、研究と育児の両立、次世代育成などの支援や学内保育環境の充実、伝統の継承等を行うため、次のような事業を推進します。

TUMUG支援事業

TUMUGでは研究と育児を両立するために研究支援要員を雇う費用や新規で採用された女性研究者の研究費等の支援を行っています。今後はさらに国の審議会委員等の社会貢献や介護等を行う女性研究者への支援も充実させていきます。



「TUMUG」とは男女共同参画推進センターの愛称です。「Tohoku University」「Movement」「United」「Gender」からなる頭字語で、東北大学が「紡ぐ」男女共同参画の取組みが、ムーブメントとして広がっていくことを目指しています。
Mail : tumug@morihi.me.tohoku.ac.jp
URL : http://www.morihi.me.tohoku.ac.jp/



● 本学における女性研究者比率

10.7%
(平成26年度)

国立大学の平均
14.7%

● 現在実施している支援制度

1. 両立支援

子供を持つ自然科学系女性研究者が出産、育児等を理由に研究を断念することがないように、研究と育児を両立させることを目的として、下記費用の一部を補助します。

- ◎研究支援要員
自然科学系の女性教員を対象に、研究支援要員雇用のために必要な人件費を補助
- ◎ベビーシッター利用料等補助
教員、技術職員、PD、博士学生を対象に、研究、講義、出張時のベビーシッター利用料等を補助

2. 女性リーダー育成

世界トップリーダーとなるような広い学問領域を見渡せる女性リーダーの育成を目的として、下記を支援します。

- ◎研究支援要員 (シェア型)
自然科学系の女性教員を対象に採択者同士で事務補佐員をシェア
- ◎スタートアップ研究費
新規採用の女性教員を対象に研究費を支援
- ◎スキルアップ研究費
女性教員を対象に、会議・シンポジウム等の旅費を支援

サイエンス・エンジェル活動の充実

サイエンス・エンジェル(SA)とは次世代の研究者を目指す中高生等に「女性研究者ってかっこいい!」、「理系進学って楽しい!」という思いを伝えるために結集した、東北大学の自然科学系女子大学院生の集まりです。女性研究者のロールモデルとしてセミナーやイベントに参加し、科学の魅力・研究のおもしろさを伝えていきます。将来性豊かな次世代女性研究者を輩出するため、このサイエンス・エンジェル活動のさらなる充実を図ります。

サイエンススクエア
2014参加者の集合写真



オープンキャンパスの様子



年間に、全国10ヶ所程度の中学校・高等学校でセミナーを開催するほか、体験型科学イベントをはじめとしたさまざまな催事への出展を行っています。

最近では毎年50名以上のSAが活動しています♪



学内保育環境の充実

子供達が安心・安全な環境で保育を受けられるよう、学内保育所(川内けやき保育園、星の子保育園)の遊具等の整備を進めるほか、新たに保育所を設置し、受入体制を充実させます。



【現在の学内保育施設】

- 川内けやき保育園(全学対象) 定員30名
- 星の子保育園(星陵地区職員対象) 定員25名
- 星の子ルーム(全学対象、病後児保育)
▶青葉山新キャンパスに新たに保育園を設置することを検討中

伝統の継承と機運の醸成

日本初の「女子学生」が誕生してから100年を迎えたことを記念し、学内に記念碑等を設置して、建学以来の理念の一つである「門戸開放」の伝統を継承するとともに内外に発信し、男女共同参画推進の機運を醸成していきます。

また、初代総長である澤柳政太郎を記念して、平成26年度より澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞(通称:澤柳記念賞)を創設しました。アカデミアにおける男女共同参画の先駆者として、各分野で活躍し多大な貢献をされた方々を選考し顕彰していきます。

第1回澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画受賞者

- 【本賞】
明治大学法科大学院教授 辻村みよ子氏
【奨励賞】
SA輝友会(エスエーきゆうかい)



女子学生入学100年の歴史と東北大学男女共同参画委員会について

1913年(大正2年)、東北帝国大学に、日本の大学として初めて3名の女子学生が入学しました。黒田チカ(佐賀県)、牧田らく(京都府)、丹下ウメ(鹿児島県)です。

彼女たちは、化学、数学を専攻して日本初の女性学士となりました。さらに、黒田は日本で二番目の女性理学博士となり、丹下は当時男性でも異例であった日米両方で博士号を取得するなど、女性研究者のパイオニアとして活躍しました。

その後、本学は全国に先駆けて2001年に男女共同参画委員会を発足させるなど、男女共同参画の包括的推進において、日本をリードする活動を展開してきました。



東北大学はこのような女子学生入学100年の歴史と背景をもとに、建学以来の理念の一つである「門戸開放」を継承する男女共同参画について、今後10年間の行動指針として平成25年に「男女共同参画推進のための行動指針」を制定しました。この行動指針に基づき、①両立支援・環境整備、②女性リーダー育成、③次世代育成、④顕彰制度、⑤地域連携、⑥国際化対応、⑦支援推進体制、の7プログラムを実施していきます。

年齢・性別等を問わず、誰もが夢や希望を持って、あらゆる分野で活躍できる社会を目指して、男女共同参画の推進に取り組んでいきます。



▲東北大学女子学生入学百周年記念ロゴマーク

記入例

払込取扱票

任意の金額をご記入ください。

12 仙台 口座記号番号 02280 通常払込加入者負担 30000

該当する項目を☑し、必要な項目をご記入ください。

国立女子大学東北大学東北大学基金 料金 備考 30000

東北大学基金の趣旨に賛同し、下のとおり寄附します。寄附の目的:男女共同参画推進基金

本学との関係
 同窓生(教育 学部/西暦 1965 年卒業/修了)
 同窓生家族(同窓生氏名 / 学部/研究科 / 年卒業/修了)
 在学生家族(在学生氏名 / 学部/研究科 / 年入学)
 退職者 名誉教授 教職員 その他

〒(980-8577) 電話(022-217-5058)

住所 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1

氏名 (フリガナ) トウホク マナブ 東北学

寄附者のお名前をご記入ください。

氏名・寄附金額の掲載を希望しない場合、☑してください。

この受領証は、大切に保管してください。